

学校法人阿弥陀寺教育学園 国際医療福祉専門学校七尾校

令和4年度 第1回学校関係者評価委員会議事録

令和4年9月1日

委員：	谷一 勝信	(七尾市役所 健康福祉部福祉課 課長)
	津田 博美	(社会福祉法人 七尾市社会福祉協議会 会長)
	中谷 勝巳	(在学生保護者・後援会 会長)
	大矢 陽介	(はまなす園 特別養護老人ホーム 理学卒業生)
	岩島 誠	(公立能登総合病院 理学卒業生)
	沖崎 孝裕	(市立輪島病院 作学卒業生)
	皆川 直樹	(津幡町消防署 救命卒業生)
	村田 敏子	(特別養護老人ホーム 鹿寿苑 介護卒業生)
	由久保 弘明	(国際医療福祉専門学校七尾校 学校長)
	大角 幸治	(国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科)
	古川 慎太郎	(国際医療福祉専門学校七尾校 救急救命学科)
	花田 真維子	(国際医療福祉専門学校七尾校 介護福祉学科)

議事内容

1. 令和4年度前期の授業状況と新型コロナウイルス感染症対策の報告 資料①
2. 在学生状況と令和3年度卒業生の進路報告 資料②-1, 2
3. 各学科の取り組み活動・成果報告 資料③
4. 学校としての取り組み活動・成果報告 資料④

1. 令和4年度前期（2022年4月～2022年8月）の授業状況と新型コロナウイルス感染症対策の報告

昨年度と同様に通常通り対面授業で実施した。なお、対面授業を実施するにあたり感染予防対策の指導と実施を徹底して行った。

しかしながら、前期においてコロナ陽性となったケースが2件あり、その際の対応は以下のとおり実施した。

- ・該当学生のクラスの授業を全てオンラインに変更し実施した。期間は検査で陽性が判明した翌日から3日間とし、その期間において感染拡大を認めなかった場合は対面授業を再開した。
- ・オンライン授業については、事前に学生への指導も十分に行っていたため、切り替えがスムーズに行え、休講することなく実施できた。

<学年歴>

- ・例年通り、変更無く実施

<感染予防対策>

- ① 学生玄関内に非接触体温計を設置し検温とアルコール手指消毒の実施
- ② 検温、症状の確認 *37.5度以上の場合は欠席とする。
- ③ 各教室にアルコールポンプを設置し、授業前後の手消毒の実施
- ④ 敷地内におけるマスク着用の徹底
- ⑤ 密集、密閉、密接の回避対策
 - 席間隔や学生人数の密集への配慮
 - 教室の換気を随時行うことによる密閉回避
 - マスクをつけて身体的距離を保つての会話を行うことによる密接回避
- ⑥ 手洗いや咳エチケットなどの感染対策に関する指導
- ⑦ 抵抗力を高める食事や睡眠などの健康管理指導
- ⑧ 学生食堂の利用方法として、対面形式の席取りは行わない。

<臨床実習> 令和4年度前期の実施状況

理学療法学科	3年生	4月～8月上旬に実習配置を行い、通常通り実施
救急救命学科	2年生	6月中に1週間の救急車同乗体験実習を実施
介護福祉学科	2年生	5月中に12日間の施設実習を実施

2022/4/11 時点

定員充足率(*転科生・留年生・訓練生を含む) *休学生は除く

	定員	1年	2年	3年	小計	総定員	充足率
PT学科	35	23	13	17	53	105	50.5%
EMT学科	35	15	18	13	46	105	43.8%
CW学科	30	6	6		12	60	20.0%
小計	100	44	37	30	111		

総数

111

270

41.1%

寮定員数と稼働率

寮名	定員数	現利用者数		
小丸山寮	30名	20名	15室(1階7室、2階8室) 全室:2人部屋	
小島寮	4名	4名	4室	
大和寮	4名	4名	4室	
石崎第一寮	7名	6名	7室	
石崎第二寮①	10名	10名	10室	
石崎第二寮②	8名	6名	6室(1階2室、2階2室、平屋2室) *平屋1室2人部屋	
後畠寮	12名	6名	12室	
大手寮	10名	6名	10室	
			全64室	
全定員数	85名	62名	<table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>72.9%</td></tr></table> 稼働率	72.9%
72.9%				

*PT・EMT・CWの3学科すべての学生が利用

全生徒数に占める寮生の割合

55.9%

令和3年度 卒業生就職先情報

理学療法学科（15名） * 七尾市内への就職者数4名

	出身地	就職先	就職先地域
1	七尾市	恵寿総合病院	七尾市
2	七尾市	恵寿総合病院	七尾市
3	七尾市	浜野介護病院	七尾市
4	七尾市	国立病院機構 天竜病院	静岡県
5	珠洲市	能登総合病院	七尾市
6	輪島市	池田病院	金沢市
7	輪島市	特養 あかかみ	輪島市
8	輪島市	老人保健施設 百寿苑	輪島市
9	輪島市	老人保健施設 百寿苑	輪島市
10	珠洲市	珠洲市総合病院	珠洲市
11	富山県	老健 きぼう	富山県
12	富山県	放課後等デイサービス SORA	富山県
13	富山県	木沢記念病院	岐阜県
14	長野県	木沢記念病院	岐阜県
15	珠洲市	城南病院	富山県

救急救命学科（6名） * 七尾市内への就職者数0名

	出身地	就職先	就職先地域
1	輪島市	金沢消防	金沢市
2	富山県	高岡市消防本部	富山県
3	富山県	富山市消防本部	富山県
4	金沢市	金沢大学付属病院	金沢市
5	加賀市	加賀市消防本部	加賀市
6	福井県	嶺北消防組合消防本部	福井県

介護福祉学科（17名） * 七尾市内への就職者数0名

	出身地	就職先	就職先地域
	中国	敬老園など	千葉県

* 留学生17名全員が千葉県内の介護福祉施設へ就職

3. 各学科の取り組み活動・成果報告

【理学療法学科】

(1) 学生状況

	令和2年度入学生 14期生	令和3年度入学生 15期生	令和4年度入学生 16期生
入学者数（充足率）	15名（42.8%）	18名（51.4%）	22名（62.8%）
留年者数	0名	1名	0名
休学者数	0名	1名	1名
退学者数	1名	3名	1名
他学科への転科者数	1名	1名	—

- ・入学前課題として、一般漢字や医学漢字、数基礎、解剖学入門（自己学習用）などを取り入れて実施している。それらの内容の確認を1年次の早期に試験形式で実施し、到達レベルに満たない学生に対しては個別指導等を行い、基礎学力レベルの底上げを行っている。その他、計画的に物事を進める能力が乏しい学生が多く、先を見据えて行動できるようスケジュール管理の指導も積極的に取入れて行っている。

(2) 取り組み状況・成果

1) 昨年度の取り組み

- ・石川県リハビリテーションセンター1日体験・講義（1年生）
- ・オープンキャンパスの学生スタッフとして参加（2年生）
- ・パーキンソン病友の会の方を招いての模擬臨床実習体験（2年生）
- ・校内デイサービス利用者の方を招いての模擬臨床実習体験（2年生）
- ・校内デイサービスにおける学生スタッフとして参加（1年、2年生）
- ・福祉住環境コーディネーター2級の取得を目指す（2年生全員）
- ・感染予防対策として3年次の国家試験日の2週間前からクラス単位での対面講義は行わず、オンライン形式で集中講義を行った。

2) 令和3年度卒業生の国家試験結果

	31年・R1年度卒業生 11期生	令和2年度卒業生 12期生	令和3年度卒業生 13期生
本校（現役）	12/12名 (100.0%)	9/13名 (69.2%)	16/17名*1 (94.1%)
全国（現役）	93.2%	86.4%	88.1%

*1：卒業生数18名うち1名は国家試験未受験

(3) 課題と今後の取り組み

1) 問題（自己）解決能力の高い人材の育成

- ・問題解決能力の養うため、学生主体のプレゼンテーションを中心とした講義を積極的に取り入れていく。
- ・ホワイトボードに書き込むことを主体とした OUTPUT の形式を取り入れ、学生が習得した内容をイメージ化する。

2) 人間性豊かな人材の育成

- ・地域施設の行事等に学生ボランティアとして積極的に参加し、主体性・社会性などの心を育む。
- ・学内外における挨拶はもちろんのこと、思いやり・気配りができる行動が自然にできるよう日々の学校生活の中で意識を高める指導を行う。

【救急救命学科】

(1) 学生状況

	令和2年度入学生 14期生	令和3年度入学生 15期生	令和4年度入学生 16期生
入学者数（充足率）	15名（42.8%）	22名（62.8%）	15名（42.8%）
留年者数	0名	0名	0名
休学者数	0名	1名	0名
退学者数	1名	3名	1名
他学科への転科者数	0名	0名	—

- 1) 本学科は救急救命士を養成する学科であり、入学する生徒のほとんどは消防就職を希望している。病院就職を希望している生徒は、在校生46名中1名(1年生1名)である。
- 2) 新入生の中には、自身の進路に対して漠然とした考えで入学する学生がおり、取得した資格が担う重要な役割の認識が足りていない学生も見受けられる。3年後の国家試験受験に向け、授業と自己学習の取り組み方について指導している。

(2) 取り組み状況・成果

1) 社会人としての意識付け

今年度、資器材拡充を図った際に、資器材庫内の清掃整備と員数点検を実施し、資器材の正しい取り扱いと点検・清掃、片付け方法を指導した。

消防や医療機関に就職する以前に社会人として、髪型や身だしなみ、挨拶、清掃整備の重要性について指導した。

2) 救急救命士としての意識付け

消防及び病院就職の意識付けを行うために、救命士会主催の救急技術指導会等の参加やドクターヘリ見学といった課外実習、心肺蘇生法講習会の実施を計画しているが、今年度もコロナ禍のため参加を控えている現状で、終息後に調整を行っていく。

2 学年・3 学年を対象として東京歯科大学における御献体による解剖見学実習を実施予定である。

後期では、ドローン操縦資格の取得や、七尾鹿島消防の救急救命士に、実技の授業内で指導していただく機会を取り入れ、教育学的な教育と実際の現場の活動の違いなど理解を深めさせる予定である。

3) 医療従事者との交流、自覚の芽生え

能登総合病院・金沢医科大学病院で行われているトリアージ訓練等に患者役として参加、メディカルラリーや JPTEC などへ積極的に参加し、病院関係者・消防関係者とのコミュニケーションを含めた接遇能力の向上、救急分野の知識と技術の向上を図らせることを計画しているが、今年度もコロナウイルスの影響により課外実習が中止となっているため、終息後に調整を行っていく。

4) 地域の社会貢献

年明け3月に開催予定の能登・万葉マラソン大会の救護スタッフとして、1 年生が参加予定である。

5) 令和3年度卒業生の国家試験結果、就職率・消防就職率

①国家試験結果

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
本校 (現役)	7 / 12 名 (58.3%)	5 / 7 名 (71.4%)	6 / 8 名 (75.0%)
全国 (現役)	91.4%	91.4%	95.0%

②就職率・消防就職率

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
就職率	69.2%	85.7%	7 / 8 名 (87.5%)
消防就職率	69.2%	71.4%	6 / 7 名 (85.7%)

(3) 課題と今後の取り組み

1) 国家試験合格率 100%

標準テキストでの勉強は当然の事であるが、上級生が下級生に実技等を教えることにより、アウトプット力の向上を図り、知識と技術を定着させていく。

また、グループワークを行い、発表形式で症例問題を解くことや検討することを行い、考える力を強化させる。

2) 消防就職率 80%以上

公務員試験対策の強化として、出題傾向の高い政治・経済・社会、数的推理・判断推理、作文対策、模擬試験、面接練習を1年後期から計画的に取り組んでいく。

【介護福祉学科】

(1) 学生状況

	令和3年度入学生 10期生	令和4年度入学 11期生
入学者数（充足率）	7名 （うち訓練生0名）	6名 （うち訓練生1名）
休学者	0名	0名
退学者	1名	0名

・令和3年度入学生より新カリキュラムとなり、カリキュラム変更後の最初の国家試験受験となる。

・留学生の入学は、コロナの影響もあり日本語学校への入学が少なかったこともあり、今年度なしとなった。

・委託訓練生（離職者訓練生）の入学1名。

(2) 取り組み状況・成果

・コロナの影響にて授産施設への見学・交流および、認知症カフェへの参加は無し。

・介護実習は、短期間の実習については一部実施できたものの、長期に及ぶ実習は、施設側の人員不足などから直前で中止となる実習もあり、学内演習に振り替えの対応を行った。

・国家試験結果について、国家試験の受験者は全て留学生。留学生は任意で受験とし、17名のうち、受験希望は10名であったが、濃厚接触者となり受験できない学生もいたため、最終的には7名の受験となった。

	令和2年度卒業生(8期生)	令和3年度卒業生(9期生)
本校(現役)	2/3名(66.7%)	2/7名(28.6%)
全国(現役)	71.0%	72.3%

・就職状況について、卒業生17名中全員が県外(千葉県)に就職。卒業生は全員留学生にて千葉県の県社協より修学金を受けているため、保証人になってもらっている法人に就職となる。

(3) 課題と今後の取り組み

1) 学生の確保

- ・今年度の入学生が最後となるため、令和6年3月の卒業生をもって介護福祉学科は閉科となる。そのため来年からの入学は無いため、今年度の学生募集も無い。

2) 国家試験対策

- ・新カリキュラムになってから初めての国家試験となるため、新旧合わせた国家試験対策をおこなっていく必要あり。国家試験対策の授業内容の見直しや模擬試験の回数も新旧を経験し、問題へ慣れる事に取り組む。

3) 地域との関わり

- ・認知症カフェ等への参加は重要であるが、コロナ感染拡大を予防するため、自粛を強いられる。また、施設見学も十分にできず、学内だけでは能力を養う学習は不足すると思われる。今後の制限緩和に期待したい。

(1) 学生募集

1) 氷見・高岡方面への学校送迎バス

利用人数は毎日 10～12 名程度で、金曜の夕方と月曜日の朝は週末実家へ帰省する学生が利用するため 16 名程度となっている。学校名の入ったスクールバスが色々な方の目に入るため、広報として有効である。今後も継続し運行していく。また、学生募集においても氷見・高岡方面の送迎は評判が良く、選考事由として挙げる高校生も見られる。しかしながら、富山方面の高校教員などにはスクールバスの認知度はまだ低く、今後より力を入れたアピールも必要である。

2) 募集メディアと募集方法

①オンラインオープンキャンパスの実施

オンラインオープンキャンパスについては、個別相談会ともに今年度は未だ予約は見られていない。新型コロナウイルスの感染拡大は見られているものの、高校がオープンキャンパスの参加制限を科してないこと、高校生自身が参加に対しての抵抗が薄れてきたことが要因と考えられる。また去年度は岐阜県や長野県からのオンラインオープンキャンパス参加者も見られたが、これらは新型コロナウイルス流行により、進学先を地元と考える学生が増えているとの統計があることからその影響も考えられる。ただし、状況や感染拡大状況の変化によっては需要が再び見込まれるため、引き続き受け入れ態勢の整備や内容の精査などに努めていきたい。また、youtube での動画配信によるオンラインオープンキャンパスも行っており、他にも授業風景などの動画のアップ定期的に行っていることで、徐々にではあるが再生回数も増えてきている。しかしながら、在校生に於いても未だ公式チャンネルの認知がされていないことがあるため、周知をしたうえで拡散を依頼する。

②リクルート企画 導入、実施、結果などについて

リクルート社との契約を継続し、「スタディサプリ for marketing」によるデータ統括と分析、「スタディサプリ進路」「スタディサプリ OC カメラ」による広告宣伝、1～2 か月に 1 度のオンラインによるミーティングによる学生募集のアドバイスを受けてくる。また、オープンキャンパス学生スタッフの育成を目的にガイダンスを行った。

③資料請求

資料請求数は昨年度合計 431 件に対し、今年度は 7 月までで 326 件、前年度同月集計では 307 件であり、わずかではあるが増加傾向である。併せて来校者（オンライン含む）の人数も昨年度合計 80 名、今年度 7 月までに 35 名であり、このまま推移していき、また 8 月 9 月は特に多くの来校者が見込まれるため、去年度よりも増員することは間違いないと思われる。しかしながら、学生募集活動としては依然十分数ではないため、引き続き広報活動が必要である。

④高校ガイダンス

今年度も、引き続きガイダンス業者さんぽうと契約し高校ガイダンスに積極的に参加している。また他社からのスポットでのガイダンス参加要請もあるが、さんぽう含め能登・呉西地区と入学実績がある高校に関して選択的に参加している。高校ガイダンスの重要性は各方面から聞かれており、有用していきたいと考えているが、ガイダンスへ参加しても来訪学生数が少ないこともあるため、参加する高校や来訪への施策なども検討していく。穴水高校等が学校見学に来ており、高校単位での見学説明会なども積極的に宣伝していきたい。

⑤その他

現在、Facebook、Instagram、YouTube などの SNS 等を使用し広報活動も行っている。また、今年度初頭から自校ホームページに不具合が発生し、「検索にかからない」「アクセスができない」などのトラブルが報告された。早急に対応し修繕を重ね、現在は概ね通常稼働している。これらのことが、少なからず広報・学生募集活動に影響したと考える。

(2) 地域貢献

1) 学内デイサービス『みんなの教室』の実施状況について

七尾市総合事業における基準緩和型運動型のデイサービス

＊2017 年開設 毎週火曜午前（風呂・食事は無し）

ほぼ毎回、定員の 10 名を満了した状況で運営している。

学生スタッフが常時 4～6 人程度入り、利用者に係ることで障害像の把握や接遇についてなど学んでおり、利用者からも学生と接することが喜びにもなり、デイサービスに参加する意義にもなっているとの言葉も聞かれている。

2) 地域交流

- ・今年度は日本 ID 陸上選手権大会と、石川県障害者スポーツ大会のサポートスタッフとして1.2年生が参加した。両大会とも運営から「非常によく動いてくれた」「また七尾校にお願いしたい」との言葉をいただいた。去年参加した石川県ボッチャ競技大会、金沢市パラスポーツ体験会、石川県フライングディスク大会からは今年度も是非協力してほしいとの要請があり、現在調整中である。現状では特に制限などはかけていないが、新型コロナウイルスの状況次第では、学生の参加を見合わせることも視野に入れて検討する。
- ・施設主催の夏祭りや敬老会等へボランティアスタッフとしての参加するための指導および準備は行っているが、各施設におけるコロナ感染拡大予防のため受け入れが無い状況が昨年度より続いている。状況が改善すれば積極的に参加して行く予定である。

以上